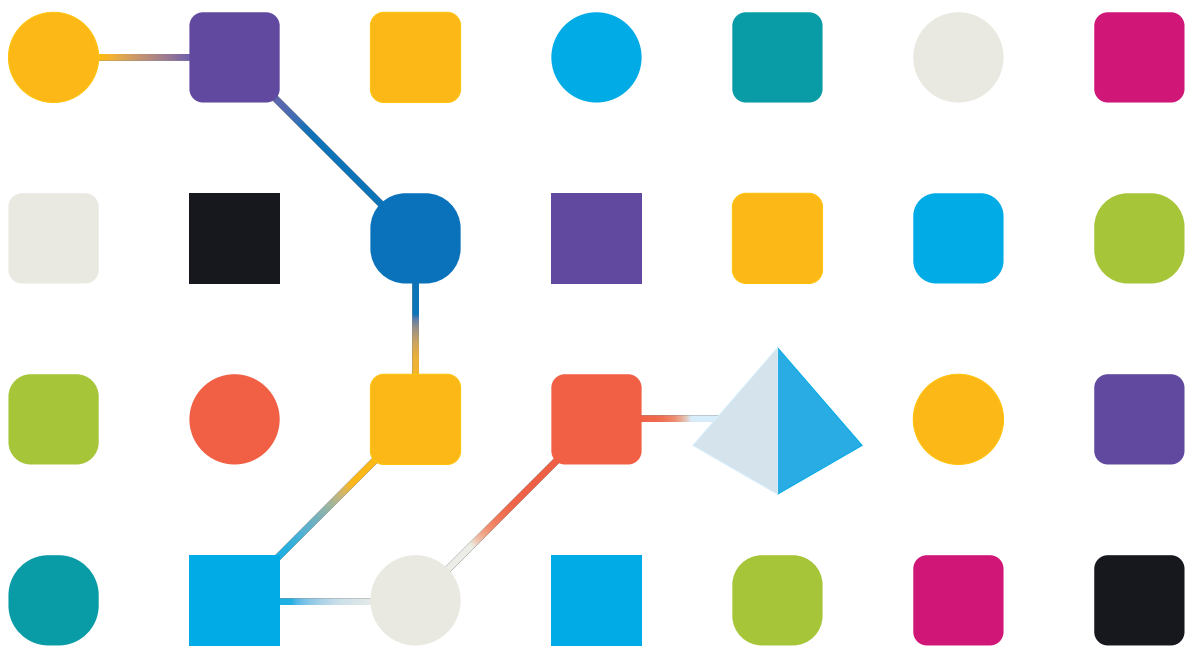


# blueprism<sup>®</sup>

## Interact Web API Service 4.7

### ユーザーガイド

Document Revision: 1.0



## 商標および著作権

本文書に記載されている情報は、Blue Prism Limitedが独占的に所有する機密情報であり、権限を与えられたBlue Prism担当者の書面による同意なしに、第三者に開示してはなりません。本文書のいかなる部分も、複写機などの電子的あるいは機械的な形式や手段を問わず、Blue Prism Limitedの書面による許可を得ることなく、複製または送信してはなりません。

### © 2023 Blue Prism Limited

Blue Prism、Blue Prismのロゴ、Prismデバイスは、Blue Prism Limitedおよびその関係会社の商標または登録商標です。All Rights Reserved.

すべての商標は本文書によって確認され、各所有者のために使用されています。  
Blue Prismは、本文書で言及する外部Webサイトの内容に関して、責任を負いません。

Blue Prism Limited, 2 Cinnamon Park, Crab Lane, Warrington, WA2 0XP, United Kingdom。  
英国で登録: 登録番号4260035。電話: +44 370 879 3000。Web: [www.blueprism.com](http://www.blueprism.com)

## 内容

Interact Web APIサービス	4
概要	4
バージョン	4
送信	5
Interactを使用するようにBlue Prismを構成する	7
サービスアカウントを設定する	7
VBOをインポートする	9
Blue Prismで認証情報を設定する	9
Interact APIサービスを構成する	10
Webサービスアクションの概要	12
アクション	14
送信を取得	15
フォームスキーマを取得	18
フォーム名別にユーザーを取得する	22
フォーム名別に役割を取得する	24
役割名別に役割IDを取得する	26
送信を作成	28
送信を生成する	29
役割に送信を生成する	30
ファイルをアップロードする	31
罫線ルールのパディングを編集	33
送信フィールド値を編集	34
フィールドの状態をオプションに変更	48
フィールドの状態を必須に変更する	49
フィールドの状態を読み取り専用に変更する	50
フィールドの状態を非表示に変更する	51
ページの状態を表示に変更する	52
ページの状態を非表示に変更する	53
送信を履歴タブに移動	54
送信を承認済みタブに移動	55
送信をレビュータブに移動	56
送信を却下済みタブに移動	57
送信を下書きタブに移動する	58
送信を受信トレイタブに移動する	59
送信をアーカイブ済みタブに移動する	60
人とDigital Workerのコラボレーション	61
Interact Web APIサービスのオブジェクト制限	63

## Interact Web APIサービス

このユーザーガイドでは、Blue Prism® InteractWebアプリケーションプログラミングインターフェイス(API) サービスについて説明します。

Blue Prism® Interactを使用することで、開発者はユーザーが初期化の時点だけでなく、ユーザーが進捗をレビューする必要がある場合のプロセス中にも自動化と連携できるWebベースのフォームを作成できます。その結果、「ユーザーとDigital Workerのコラボレーション」アプローチを可能にします。

Interactからの情報は、Digital Workerによる処理のためにBlue Prismキューに追加されます。その後Blue Prismは、更新された情報を動的にInteractに送り返します。こうすることで、ユーザーは処理済みデータをレビューして処理し、自動化プロセスに参加できます。

このガイドの一部では、ユーザーはBlue Prism Digital Workforceに精通しており、Blue Prism® HubやBlue Prismなどの関連コンポーネントの使用経験があることが前提となります。

### 概要

Digital Workforceがエンタープライズの参照可能な使用事例を展開するにつれ、Digital Workersとユーザーがビジネスプロセスのエンドツーエンドの実行においてコラボレーションする必要性が一層高まっています。また、リソースに対応できる人に対する柔軟性を提供するには、Digital Workforceに仕事を割り当てる革新的な方法が必要です。Blue Prism Interactは、新規および既存のBlue Prismユーザーに、ビジネスプロセス内のDigital Workforceとエンドユーザーがやりとりするためのコラボレーションインターフェイスを提供します。ビジネスプロセスに関連するさまざまな作業を開始、確認、受信、認証します。Blue Prism Interactは、ノーコードのフォームデザイナーを使用するか、Blue Prismビジュアルビジネスオブジェクト(VBO)を使用してビジネスプロセス要件に基づいてフォームを作成することで、ユーザーは動的なWebインターフェイスを作成できるようになるため、必要なスキル基準を減らすことができます。

Blue Prism Interactの機能は、2つのBlue Prismコンポーネントに分かれています。

- Blue Prism® Hub内のInteractプラグイン – Hubとフォームプラグインを使用する開発者が、エンドユーザーが使用するフォームを作成および公開できます。
- Interact Webベースアプリケーション – エンドユーザーが公開されたフォームを利用したり、デジタルワークフォースとやりとりをしたりできるユーザーインターフェイスを提供します。


InteractのエンドユーザーインターフェイスにはWebブラウザを介してアクセスするため、ローカルにインストールされるソフトウェアは不要です。Interactは、内部のWebアプリケーションとしてアクセスすることも、外部に公開することもできます。

このユーザーガイドでは、Blue Prismキューからの情報収集と、処理後に情報をアップデートしてInteractユーザーインターフェイスに戻す方法について説明しています。

また、Interact Web APIサービスの機能を活用する方法の詳細に加えて、フォームを動的に更新する方法を示すサンプルプロセスをステップスルーして、機能を実演します。

### バージョン


Interact Remote APIのバージョン2が、Interact 4.6で導入されました。APIのこのバージョンでは、このガイドで詳しく説明されている新しいアクションと更新されたアクションを導入しています。これらのアクションを使用するには、最新バージョンのInteract API ServiceリリースファイルをBlue Prismにインポートする必要があります。詳細については、「[Interactを使用するようにBlue Prismを構成する ページ7](#)」を参照してください。

 Interact Remote APIは、Active Directoryセキュリティグループとの互換性が制限されています。Interact Remote APIのユーザー関連のアクションの一部はセキュリティグループをサポートしていませんが、Active Directoryユーザーを含むInteractの役割に直接割り当てられたユーザーは引き続きサポートしています。詳細については、「[Webサービスアクションの概要 ページ12](#)」を参照してください。

## 送信

フォームの送信の詳細は、[Interact ユーザーガイド](#)に記載されています。処理され、フォームで定義されたBlue Prismキューに追加されます。この情報は、Blue Prism内部ビジネスオブジェクト – ワークキューの [次のアイテムを取得] アクションを使用してキューから取得できます。

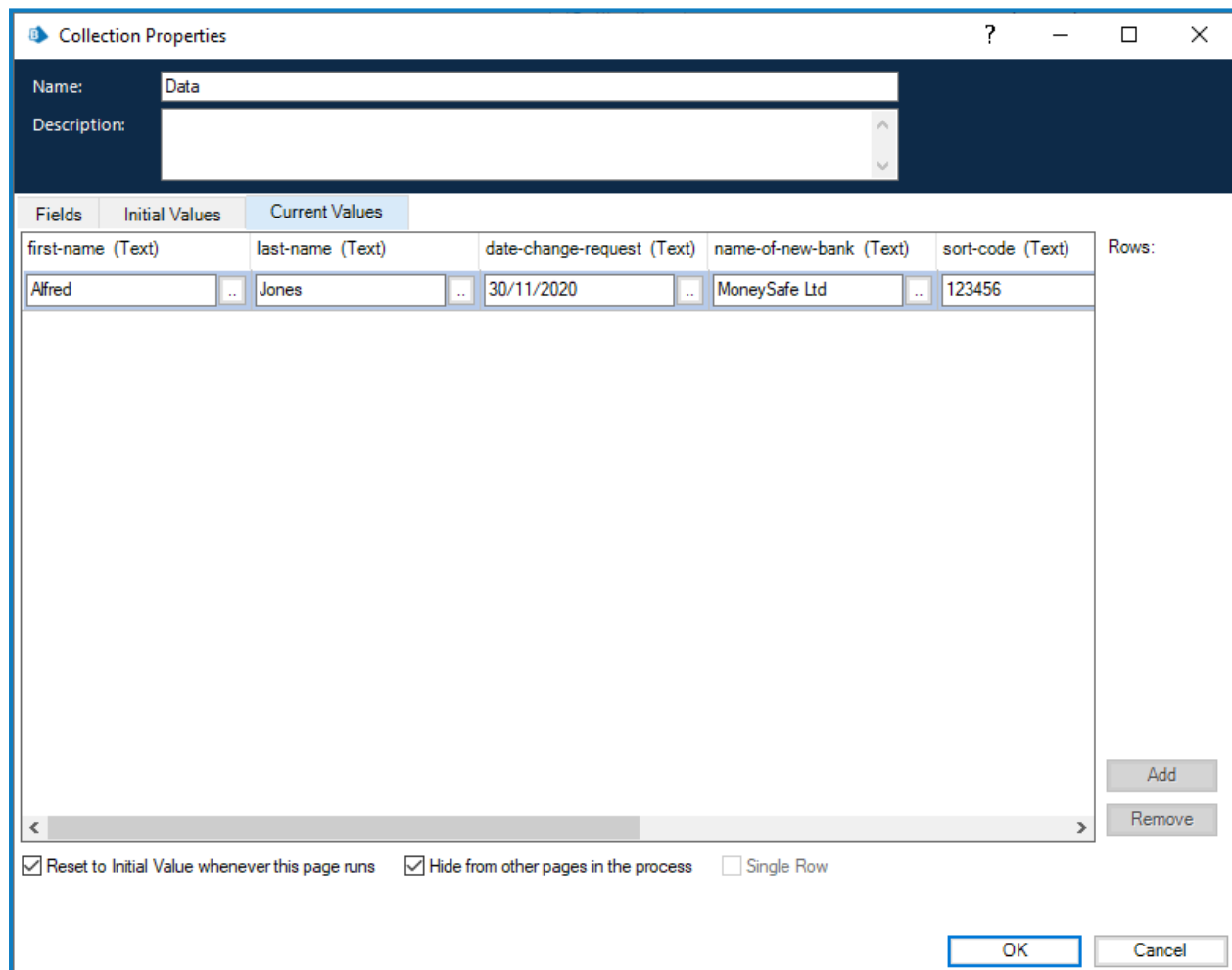
[次のアイテムを取得] アクションを使用すると、処理の準備ができた自動化にコレクションが取得されます。コレクションはフィールドで定義しないことを推奨します。これは、すべての情報をInteractから引き出せるようにするためです。フォームが新しいフィールドで更新されているか、フィールドが削除されている場合、コレクション内のフィールドを定義すると自動化は失敗します。

 予想されるBlue Prism Enterpriseワークキューに送信が追加されていない場合は、送信がメッセージブローカーサーバー( RabbitMQを実行) に正しく渡されていない可能性があります。

HubまたはInteractのシステムに障害が発生すると、Interactフォームの送信が、RabbitMQの該当するメッセージキューではなく、RabbitMQエラーキューに送信される場合があります(これにより、Blue Prism Enterpriseのワークキューに送信が転送されます)。システム管理者( RabbitMQにアクセスできる管理者) は、送信をエラーキューから移動する必要があります。

RabbitMQエラーキューからInteractフォームの送信を移動する方法については、ナレッジベースの記事「[RabbitMQエラーキューからInteractフォームの送信を移動する方法](#)」を参照してください。

一般的なコレクションは下図のとおりです。



Fields	Initial Values	Current Values	Rows:	
first-name (Text)	last-name (Text)	date-change-request (Text)	name-of-new-bank (Text)	sort-code (Text)
Alfred	Jones	30/11/2020	MoneySafe Ltd	123456

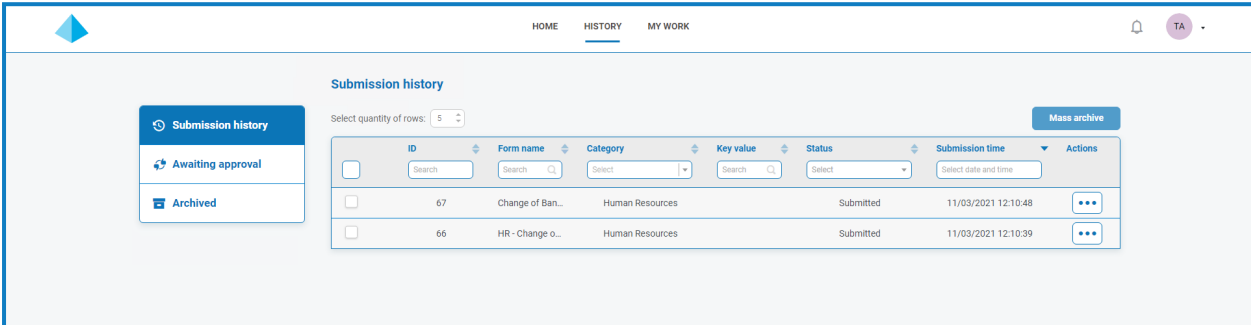
Reset to Initial Value whenever this page runs    Hide from other pages in the process    Single Row

Buttons: Add, Remove, OK, Cancel

ここで注意すべき重要なことは、2つの情報がコレクションに追加されることです。これらは、[コレクションのプロパティ]の「現在の値」タブの最後にフィールドとして表示されます。

- `_requestId` データアイテム – ユーザーが送信したフォームの送信IDです。
- `_submitterDetails` コレクション – フォームを送信したユーザーに関連する詳細情報のリンクとして表示されます。


`_requestId` データアイテム(送信ID)は、「送信履歴」ページに表示される番号です(下図参照)。



ID	Form name	Category	Key value	Status	Submission time	Actions
67	Change of Ban...	Human Resources		Submitted	11/03/2021 12:10:48	...
66	HR - Change o...	Human Resources		Submitted	11/03/2021 12:10:39	...


これは、InteractとBlue Prism間のリンクの最初のキーアイテムです。リンクの2番目の部分は、データアイテムを含むフォームのフィールドです。

上に示したコレクションには、データアイテムのオートメーションID(名、姓、雇用日など)が表示されています。これらは、フォームがHubで作成されたときにフィールドに定義された「名前」です。ラベルを入力する際、HubはフィールドのオートメーションIDを提案します。特定のニーズに合わせて、提供されたものを使用するか、別のものに変更するかを選択できます。

 フォームフィールドのオートメーションIDは小文字で入力する必要があり、特殊文字は使用できません。スペースを入力すると、その文字はハイフン「-」文字に置き換えられます。これは読みやすさを補助するためです。

## Interactを使用するようにBlue Prismを構成する

Blue PrismとInteractは、Blue Prism Interact Remote APIを経由して通信します。このAPIを使用するには、Interact APIサービスリリースファイルをBlue Prismにインポートする必要があります。これにはWeb APIサービスとVBOが含まれます。インポート後は、安全な通信を可能にするために、適切なベースURLと認証コードで更新する必要があります。

 Interactを新しいリリースにアップグレードする場合、最新のリリースファイルをBlue Prismにインポートする必要があります。Interact APIサービスのリリースファイルは、[Blue Prismポータル](#)から入手できます。

Blue Prismを構成してInteractを使用するには、以下を行う必要があります。


1. Hubで[サービスアカウント](#)を設定し、シークレットキーを生成します。
2. [Interact APIサービスVBO](#)をBlue Prismにインポートします。
3. Blue PrismでInteract Web APIサービスアカウントの[認証情報を設定](#)します。
4. [Interact APIサービスを構成](#)し、Blue PrismがInteractと通信できるようにします。

### サービスアカウントを設定する

Blue PrismでInteract Remote API認証情報を設定するには、シークレットキーが必要です。これはInteract Remote APIで使用するため、Hubの関連サービスアカウントから生成されます。キーを紛失した場合は、サービスアカウントから別のキーを再生成できます。詳細については、「[サービスアカウント](#)」を参照してください。

Interact Remote APIにサービスアカウントを設定していない場合は、サービスアカウントを作成できます。

1. Blue Prism Hubの [\[サービスアカウント\]](#) ページで、[\[アカウントを追加\]](#) をクリックします。
2. 一意のIDとフレンドリ名 ( `InteractRemoteAPI` など ) を入力します。

 `InteractRemoteClient` を使用しないでください。この名前はシステム内で内部的に割り当てられます。

3. **許可]**で、**[Interact Remote API]**を選択します。

## Add a service account

**ID \***  
Client ID which uniquely identifies the client application to the identity provider.

**Name \***  
Client name in the Authentication Server database.

**Permissions**  
The API(s) to which the client has access.

Blue Prism API

Authentication Server API

Interact Remote API

Decision API

Director API

[Create service account](#)

4. **サービスアカウントを作成]**をクリックします。

サービスアカウントを追加]ダイアログに、生成されたシークレットキーが表示されます。関連する認証情報を構成する際は、このキーをBlue Prismのインタラクティブクライアントに入力する必要があります。


5. 生成されたシークレットキーをクリップボードにコピーし、Blue Prismインタラクティブクライアントに貼り付ける準備ができます。

## Add a service account

Your service account has been successfully created. The secret for this service account displays below.

**Secret**

You can copy the secret to your clipboard using the Copy to Clipboard icon.

Show secret

[OK](#)

6. **OK]**をクリックしてダイアログを閉じます。

サービスアカウント] ページに、新しく作成されたアカウントが表示されます。



## VBOをインポートする

1. Blue PrismポータルからInteract APIサービスのリリースファイルをダウンロードします。
2. Blue Prismで **ファイル**を選択し、**インポート** > **リリース/スキル**をクリックし、プロンプトに従ってリリースファイルをBlue Prismにインポートします。詳細については「[ファイルをインポート](#)」を参照してください。

## Blue Prismで認証情報を設定する

1. Blue Prismインタラクティブクライアントにログインし、**システム**を選択して **セキュリティ** > **認証情報** をクリックします。詳細については、[セキュリティ](#) > [認証情報](#) を参照してください。
2. **新規**をクリックします。  
認証情報の詳細]ダイアログが表示されます。
3. 認証情報の詳細]ダイアログの **アプリケーション認証情報** タブで、次の手順を実行します。
  - a. 名前を入力します。
  - b. **タイプ**を **OAuth 2.0(クライアント認証情報)**に変更します。
  - c. **クライアントID**に、上記の「[Interactを使用するようにBlue Prismを構成する ページ7](#)」で、サービスアカウントの作成で使用したID(例: InteractRemoteAPI)を入力します。
  - d. **クライアントシークレット**に、サービスアカウント用に生成したシークレットキーを入力します。

Credential Details

Name: Interact Credentials

Description: Credentials for the Interact Remote API

Type: OAuth 2.0 (Client Credentials)

Application Credentials | Access Rights

Use this credential type for OAuth 2.0 web authentication using client credentials.

Client ID: InteractRemoteAPI

Expires:  2/10/2099

Client Secret: .....

Marked as invalid

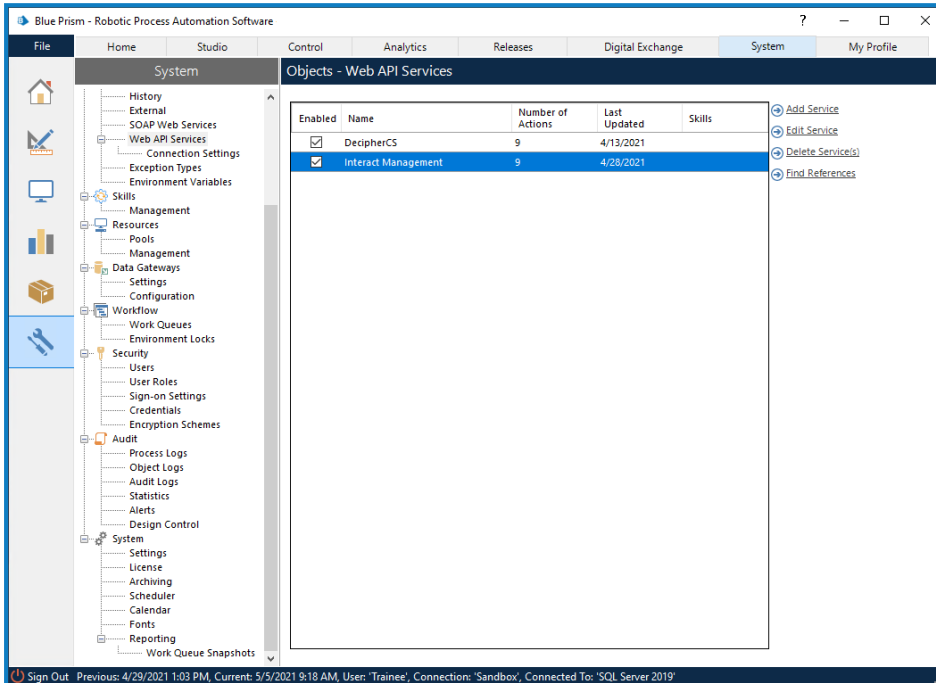
Name	Value
grant_type	.....
scope	.....

OK Cancel

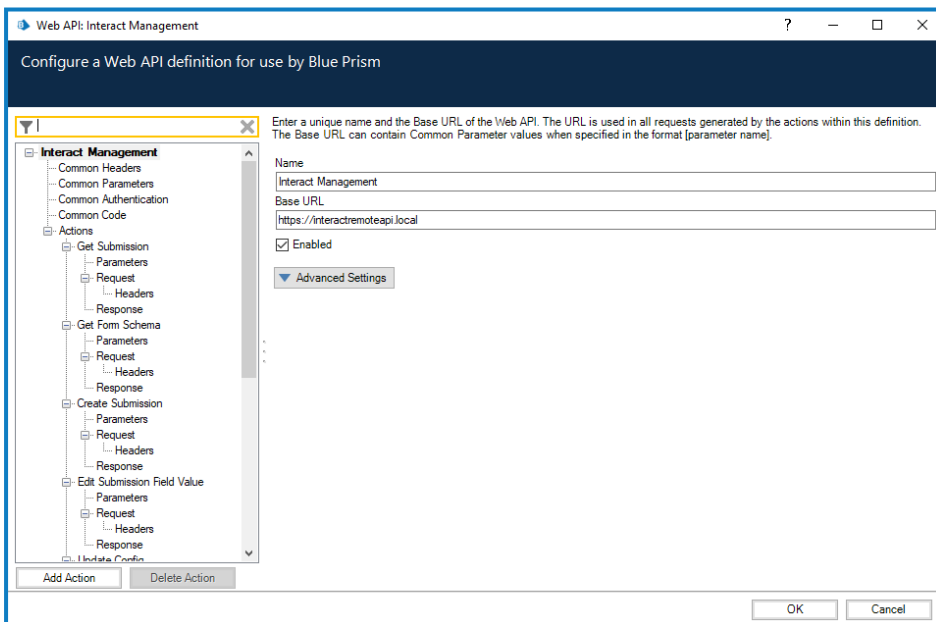
4. 認証情報の詳細]ダイアログの **アクセス権** タブで、必要なアクセス許可を設定します。
5. **OK**をクリックします。

## Interact APIサービスを構成する

1. Blue Prismで **システム]**を選択して、**オブジェクト]** > **[Web APIサービス]**の順にクリックします。  
**オブジェクト - Web APIサービス]**画面が表示されます。例：



2. **[Interactを管理]**を選択し、**サービスを編集]**をクリックします。  
**[Web API: Interactを管理]**画面が表示されます。



3. **[Web API: Interactを管理]**の開始画面の **ベースURL]**に、組織のInteract APIサービスのURLを入力します。これはInteractのインストール中に定義されています。
4. ナビゲーションツリーで **共通認証]**を選択し、次の手順を実行します。


- a. **認証タイプ**]が **OAuth 2.0(クライアント認証情報)** ]に設定されていることを確認します
- b. **承認URI**]に以下の形式でAuthentication Server URLを入力します。

<Authentication Server URL>:<ポート (インストール中に指定した場合)>/connect/token

たとえば、<https://authentication.blueprism.com:5000/connect/token>

または、デフォルトのポートが使用されている場合は、

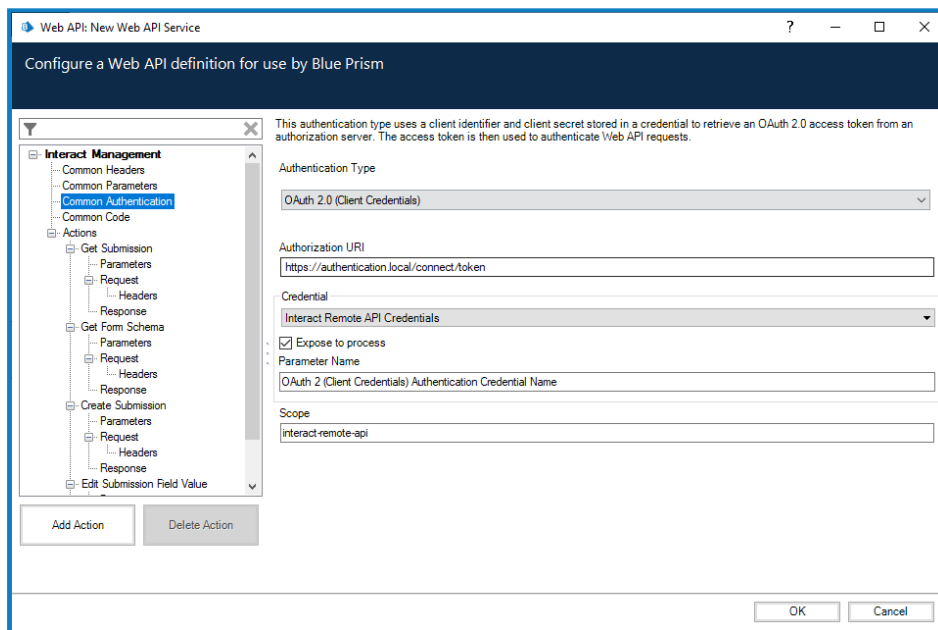
<https://authentication.blueprism.com/connect/token>。

 4.3より前のバージョンからアップグレードした場合、お使いのシステムは引き続きIMSを使用します。この場合、以下の形式で情報を入力します。

<IMS URL>:<ポート (指定した場合)>/connect/token

たとえば、<https://ims.blueprism.com:5000/connect/token>。

- c. **認証情報**]で、Blue Prismで認証情報を設定する **ページ9**で作成した認証情報を選択します。



5. **OK**]をクリックして保存し、Web APIサービスの設定を完了します。

## Webサービスアクションの概要

Webサービスにはの定義されたアクションがあります。これらのアクションは、ユーティリティ - Interact API Blue Prism VBO内で、Webサービスにマッピングされる多数の追加アクションとともに使用できます。アクションは次のとおりです。

Interact Web API	Blue Prism VBO: ユーティリティ - Interact API
送信を取得	送信を取得
フォームスキーマを取得	フォームスキーマを取得
送信を作成	送信を作成
送信フィールド値を編集	罫線ルールのパディングを編集 <Type>フィールド値を編集する、タイプは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• チェックボックス(単一)</li> <li>• チェックボックス(複数)</li> <li>• Date</li> <li>• ドロップダウン(シングル)</li> <li>• ドロップダウン(複数)</li> <li>• 数値</li> <li>• 段落</li> <li>• ラジオ</li> <li>• 表</li> <li>• テキスト</li> <li>• テキスト領域</li> <li>• 時間</li> <li>• アップロード</li> </ul>
構成を更新	フィールドの状態をオプションに変更 フィールドの状態を必須に変更 フィールドの状態を読み取り専用に変更 フィールドの状態を非表示に変更 ページの状態を表示に変更 ページの状態を非表示に変更
更新ステータス	送信を履歴タブに移動 送信を承認済みタブに移動 送信をレビュータブに移動 送信を却下済みタブに移動 送信を下書きタブに移動 送信を受信トレイタブに移動 送信をアーカイブ済みタブに移動
送信を生成	送信を生成

Interact Web API	Blue Prism VBO: ユーティリティ - Interact API
フォーム名別にユーザーを取得	フォーム名別にユーザーを取得
ファイルをアップロード	ファイルをアップロード
役割名別に役割IDを取得	役割名別に役割IDを取得
フォーム名別に役割を取得	フォーム名別に役割を取得
トランザクション別に送信を取得	トランザクションIDで送信を取得 - [送信の作成]、[送信の生成]、[役割に送信を生成]で内部的に使用し、デジタルワーカーに送信IDを返します。
役割に送信を生成	役割に送信を生成
トランザクションID別に送信フィールド値を編集	トランザクションIDを取得 - [罫線ルールのパディングを編集]と[段落フィールド値を編集]で内部的に使用されます。

これらのアクションはユーティリティ - Interact API VBOから呼び出されるため、URLと認証コードの初期設定後、Webサービスを修正する必要はありません。ユーティリティ - Interact API VBO内の各アクションについては、次のセクションで説明します。

**⚠** Active Directoryを使用しており、Interact Remote APIを使用して「送信を作成」と「送信を生成」のアクションを使用する場合は、アクションが正しく機能するように、HubのInteractの役割にユーザーを直接割り当てる必要があります。これらのアクションは、Active Directoryセキュリティグループの使用をサポートしていません。ただし、セキュリティグループを使用するように役割を構成すれば、「役割に送信を生成」アクションを使用できます。


次の表は、入力または出力においてユーザー情報を利用するアクションと、Active Directoryとの互換性をまとめたものです。


Interactの役割を持つActive Directoryセキュリティグループの使用をサポート	Active DirectoryユーザーのInteractの役割への直接割り当てをサポート
役割に送信を生成	送信を作成 送信を生成 役割に送信を生成 フォーム名別にユーザーを取得 フォーム名別に役割を取得

ロールの構成については、「Blue Prism Hub管理者ガイド」を参照してください。

## アクション

Interact Web APIサービスには多数のアクションがあり、Blue Prismオブジェクト (ユーティリティ - Interact API) の使用から呼び出されます。以下のセクションでは、各アクションを順番に確認しながら、自動化の中でこれらのアクションを使用する方法を説明します。

 すべてのWeb APIサービスアクションは、Webサービスから直接呼び出すのではなく、Blue Prismのユーティリティ - Interact API VBOから呼び出す必要があります。

 Active Directoryを使用しており、Interact Remote APIを使用して「送信を作成」と「送信を生成」のアクションを使用する場合は、アクションが正しく機能するように、HubのInteractの役割にユーザーを直接割り当てる必要があります。これらのアクションは、Active Directoryセキュリティグループの使用をサポートしていません。ただし、セキュリティグループを使用するように役割を構成すれば、「役割に送信を生成」アクションを使用できます。

次の表は、入力または出力においてユーザー情報を利用するアクションと、Active Directoryとの互換性をまとめたものです。

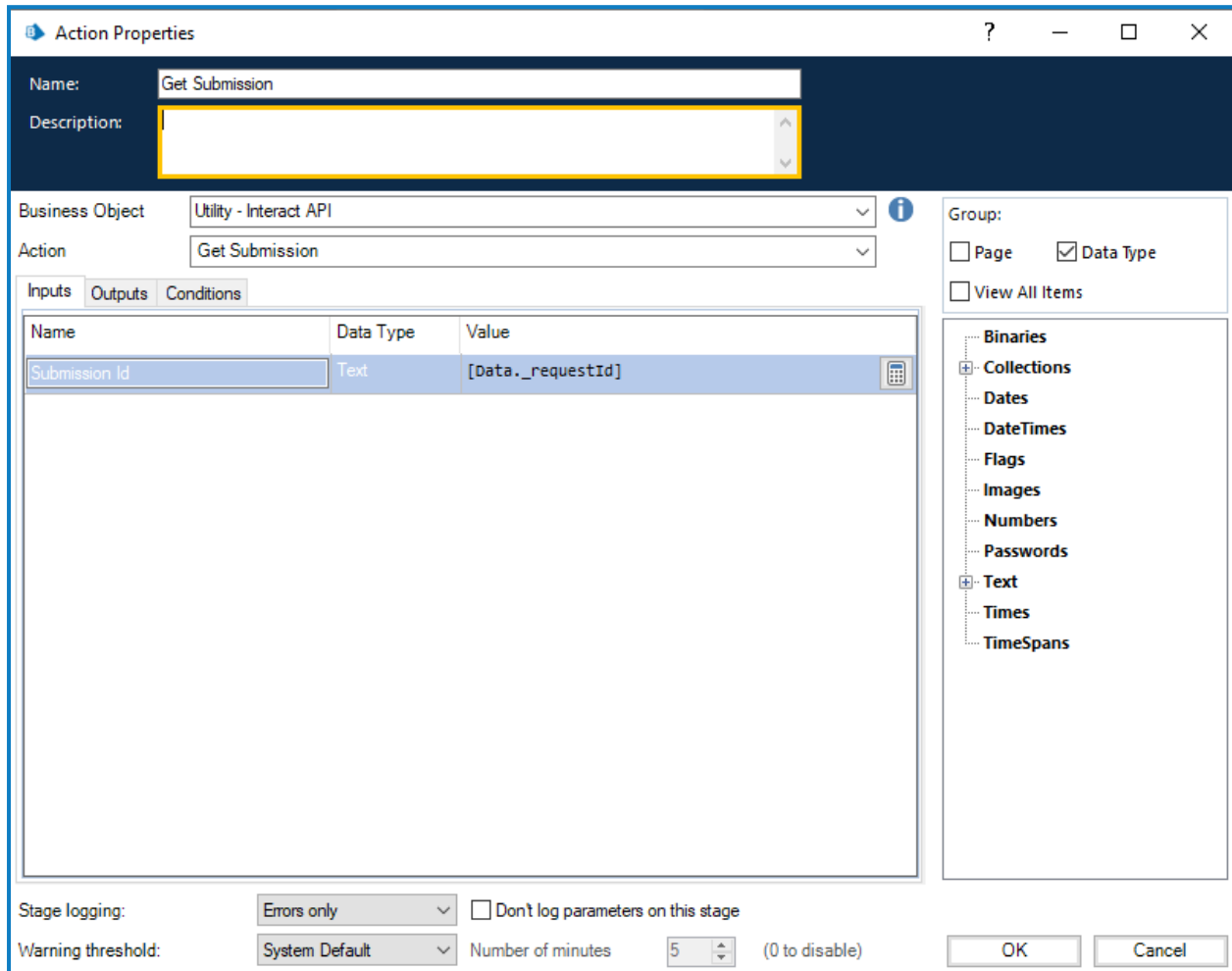
Interactの役割を持つActive Directoryセキュリティグループの使用をサポート	Active DirectoryユーザーのInteractの役割への直接割り当てをサポート
役割に送信を生成	送信を作成 送信を生成 役割に送信を生成 フォーム名別にユーザーを取得 フォーム名別に役割を取得

ロールの構成については、「[Blue Prism Hub管理者ガイド](#)」を参照してください。

## 送信を取得

送信を取得]アクションは、キューから情報を取得する際に、次のアイテムを取得]アクションと非常によく似たアクションを実行します。

アクションを利用するには、アクションをプロセスと選択したビジネスオブジェクトに追加し、アクションを 送信を取得]に設定します。入力パラメーターは、以下に示す送信 IDのみです。



Action Properties

Name: Get Submission

Description:

Business Object: Utility - Interact API

Action: Get Submission

Group:  Page  Data Type  View All Items

Inputs Outputs Conditions

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]

Binaries  
Collections  
Dates  
DateTimes  
Flags  
Images  
Numbers  
Passwords  
Text  
Times  
TimeSpans

Stage logging: Errors only  Don't log parameters on this stage

Warning threshold: System Default Number of minutes 5 (0 to disable)

OK Cancel

出力パラメーターは、送信IDをコレクションに使用してInteractフォームの内容を取得します。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Get Submission' action. The 'Name' field is 'Get Submission' and the 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Get Submission'. The 'Group' is 'Data Type'. The 'View All Items' checkbox is unchecked. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with one row: 'Submission Data' (Collection) stored in 'Submission Data'. The 'Stage logging' is set to 'Errors only' and 'Don't log parameters on this stage' is unchecked. The 'Warning threshold' is 'System Default' and the 'Number of minutes' is '5'.

Name	Data Type	Store In
Submission Data	Collection	<input checked="" type="checkbox"/> Submission Data

Stage logging: Errors only  Don't log parameters on this stage

Warning threshold: System Default Number of minutes: 5 (0 to disable)


OK Cancel



標準の [次のアイテムを取得] アクションではなく、この方法を使用して送信を取得する場合の違いの1つは、日付要素の形式です。 [次のアイテムを取得] 手法を使用すると、日付はテキスト形式で返されますが、 [送信を取得] では次のようにDateTime形式で返されます。

Fields	Initial Values	Current Values	Rows:
first-name (Text)		Alfred	
last-name (Text)		Jones	
date-change-request (DateTime)		11/30/2020 12:00:00 AM	
name-of-new-bank (Text)		MoneySafe Ltd	
sort-code (Text)		123456	

シナリオの全リストについては、「[Interact Web APIサービスのオブジェクト制限 ページ63](#)」を参照してください。

 送信IDがわかっている場合を除き、 [送信を取得] アクションは使用できません。これは送信ごとに一意であるため、自動化にハードコードすることはできません。これは、 [次のアイテムを取得] アクションを使用して取得する必要があります。

## フォームスキーマを取得

[フォームスキーマを取得]アクションは、コレクション内のInteractフォームの構造を取得し、処理後 [送信を作成]アクションを使用して、ユーザーが入力して送信できるようInteractフォームを空または部分的に作成します。

次の図に示すように、入力パラメーターは1つのみで、それは構造を取得するInteract内のフォームの名前です。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Get Form Schema' action. The 'Name' field is 'Get Form Schema'. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API'. The 'Action' is 'Get Form Schema'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with one input parameter:

Name	Data Type	Value
Form Name	Text	"Change of Bank Details"

The 'Group' section has 'Data Type' checked. The 'View All Items' checkbox is unchecked. The tree view on the right shows the following structure:

- Binaries
- Collections
  - Data
  - Form Schema
  - Submission Data
- Dates
- DateTimes
- Flags
- Images
- Numbers
- Passwords
- Text
- Times
- TimeSpans

At the bottom, 'Stage logging' is set to 'Errors only' and 'Warning threshold' is 'System Default' with a value of 5 minutes.

出力パラメーターは、リクエストステータスが、フィールドを含むコレクションとともに返される [送信を取得] アクションと似ています。

**Action Properties**

Name: Get Form Schema  
Description:

Business Object: Utility - Interact API  
Action: Get Form Schema

Group:  
 Page  Data Type  
 View All Items

Name	Data Type	Store In
Form Schema	Collection	<input checked="" type="checkbox"/> Form Schema

Binaries  
Collections  
Data  
Form Schema  
Submission Data  
Dates  
DateTimes  
Flags  
Images  
Numbers  
Passwords  
Text  
Times  
TimeSpans

Stage logging: Errors only  Don't log parameters on this stage  
Warning threshold: System Default Number of minutes: 5 (0 to disable)

OK Cancel

取得したコレクションは、フォームの構造を含む空白のコレクションです。

Collection Properties

Name: Form Schema

Description:

Fields	Initial Values	Current Values			
first-name (Text)	last-name (Text)	date-change-request (Text)	name-of-new-bank (Text)	sort-code (Text)	Rows:
	..	..	..	..	

Buttons: Add, Remove

Options:  Reset to Initial Value whenever this page runs,  Hide from other pages in the process,  Single Row

Buttons: OK, Cancel

表示されるフィールドの構造は、[次のアイテムを取得]形式と似た形式であるため、日付要素では、テキストデータ型の送信が要求されます。テキストタイプが使用されるのは、Interact内の複数の形式の日付要素タイプをサポートするためです。日付は、英国形式、米国形式、または国際形式で指定できます。

[次のアイテムを取得]形式と [フォームスキーマを取得]形式の違いは、アップロード要素フィールドです。[次のアイテムを取得]アクションは、ファイルが保存されている場所へのリンクを返しますが、[フォームスキーマを取得]アクションは、リンクだけでなく、アップロードされたファイルの詳細を含むコレクションを返します。これは、[ファイルをアップロード]アクションを使用する場合にも必要です。

Collection Properties

Name: Submission Data

Description:

Submission Data attach-cv

Fields	Initial Values	Current Values
name (Text)		
size (Number)		
extension (Text)		
link (Text)		
type (Text)		
Invoice.pdf		32808 pdf https://file.local/Files/self application/pdf

Reset to Initial Value whenever this page runs  Hide from other pages in the process  Single Row

Add Row Remove Row

OK Cancel

アップロードファイルの詳細を含むコレクションの形式は、上記の図のように正しく設定する必要があります。

- **名前** – 拡張子を含むファイルの名前。
- **サイズ** – ファイルのサイズ(バイト)。
- **拡張子** – 先頭のピリオドまたはフルストップを除くファイル拡張子。
- **リンク** – アップロードされたファイルへのリンク。
- **タイプ** – 「アプリケーション/pdf」や「画像/png」などのファイルのタイプ。

## フォーム名別にユーザーを取得する

「フォーム名別にユーザーを取得」アクションでは、特定のフォーム名に関連付けられているユーザーのリストを収集できます。

アクションの入力は、次に示すように「フォーム名」です。

**Action Properties**

Name:

Description:

Business Object:

Action:

Group:  Page  Data Type  View All Items

**Inputs** | Outputs | Conditions

Name	Data Type	Value
Form Name	Text	"New Starter"

Binaries  
Collections  
Dates  
DateTimes  
Flags  
Images  
Numbers  
Passwords  
Text  
Times  
TimeSpans

Stage logging:   Don't log parameters on this stage

Warning threshold:  Number of minutes  (0 to disable)

出力は、その [フォーム名]に関連付けられているユーザーをリストするコレクションです。

**Action Properties**

Name: Get Users by Form Name  
Description:

Business Object: Utility - Interact API  
Action: Get Users by Form Name

Group:  
 Page  Data Type  
 View All Items

Inputs Outputs Conditions

Name	Data Type	Store In
Users	Collection	Users

Binaries  
Collections  
Dates  
DateTimes  
Flags  
Images  
Numbers  
Passwords  
Text  
Times  
TimeSpans

Stage logging: Errors only  Don't log parameters on this stage  
Warning threshold: System Default Number of minutes: 5 (0 to disable)

OK Cancel

## フォーム名別に役割を取得する

[フォーム名別に役割を取得]アクションでは、特定のフォーム名に関連付けられている役割のリストを収集できます。

アクションの入力は、次に示すように [フォーム名] です。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Get Roles by Form Name' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. The 'Name' field is set to 'Get Roles by Form Name'. The 'Description' field is empty. The 'Business Object' is set to 'Utility - Interact API'. The 'Action' is set to 'Get Roles by Form Name'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with one input parameter:

Name	Data Type	Value
Form Name	Text	

The 'Outputs' and 'Conditions' tabs are also visible. On the right side, the 'Group' section has 'Page' unchecked and 'Data Type' checked. Below that, 'View All Items' is unchecked. A list of data types is shown on the right, including Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, and TimeSpans. At the bottom, the 'Stage logging' section has 'Errors only' selected and 'Don't log parameters on this stage' unchecked. The 'Warning threshold' is set to 'System Default' with a value of 5 minutes.



出力は、その [フォーム名]に関連付けられている役割名をリストするコレクションです。

**Action Properties**

Name: Get Roles by Form Name  
Description:

Business Object: Utility - Interact API  
Action: Get Roles by Form Name

Group:  
 Page  Data Type  
 View All Items

Inputs | **Outputs** | Conditions

Name	Data Type	Store In
Roles	Collection	<input checked="" type="checkbox"/> Roles

Binaries  
Collections  
Dates  
DateTimes  
Flags  
Images  
Numbers  
Passwords  
Text  
Times  
TimeSpans

Stage logging: Errors only  Don't log parameters on this stage  
Warning threshold: System Default Number of minutes: 5 (0 to disable)

OK Cancel

## 役割名別に役割IDを取得する

役割名別に役割IDを取得]アクションでは、特定の役割名( [フォーム名別に役割を取得]を実行して取得)の役割識別番号を取得することができます。

アクションの入力は、次に示すように [役割名]です。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Get Role ID by Role Name' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. The 'Name' field is 'Get Role ID by Role Name' and the 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Get Role ID by Role Name'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with one input: 'Role Name' of type 'Text' with the value 'Human Resources'. The 'Outputs' and 'Conditions' tabs are also visible. On the right, the 'Group' section has 'Page' unchecked and 'Data Type' checked. Below that is a tree view of data types: Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, and TimeSpans. At the bottom, 'Stage logging' is set to 'Errors only' and 'Warning threshold' is 'System Default' with a 'Number of minutes' set to 5. 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom right.

Name	Data Type	Value
Role Name	Text	"Human Resources"

出力は役割IDです。これは役割名に関連付けられた識別番号です。

**Action Properties**

Name:

Description:

Business Object:

Action:

Group:  Page  Data Type  View All Items

Inputs Outputs Conditions

Name	Data Type	Store In
Role ID	Number	<input checked="" type="checkbox"/> RoleID

Binaries  
Collections  
Dates  
DateTimes  
Flags  
Images  
Numbers  
Passwords  
Text  
Times  
TimeSpans

Stage logging:   Don't log parameters on this stage

Warning threshold:  Number of minutes  (0 to disable)

## 送信を作成


[送信を作成]アクション内では4つのパラメーターを定義する必要があります。

Name	Data Type	Value
Form Name	Text	"Change of Bank Details"
Username	Text	[Username]
Password	Password	[Password]
Fields	Collection	[Form Schema]

4つのパラメーターは以下のとおりです。

- **ユーザー名** – 送信を作成するInteractユーザーのユーザー名。
- **パスワード** – このInteractユーザーのパスワード。Interact Remote API v2を使用している場合、これは任意のパラメーターです。Interact Remote API v1を使用している場合、これは必須のパラメーターです。
- **フォーム名** – Interact内で作成されるフォーム。
- **フィールド** – 作成された送信内で設定される値。

新しい送信の作成を補助するために、[\[フォームスキーマを取得 ページ18\]](#)を使用してフォームの基本構造を取得できます。これには新しいデータアイテムが入力され、ユーザーの新しい送信として作成されます。

 送信を作成するには、フィールドとフォームスキーマがInteract内のフォームのフィールドとフォームスキーマに一致している必要があります。フィールドがないか構造が間違っていると、破損した送信が作成されます。


いったん開始されると、作成された送信は、指定されたユーザーの送信履歴に送信済みフォームとして表示され、フォーム構造に詳細が示された、指定されたBlue Prismキューに追加されます。

[送信を作成]アクションには、次の任意の出力パラメーターがあります。

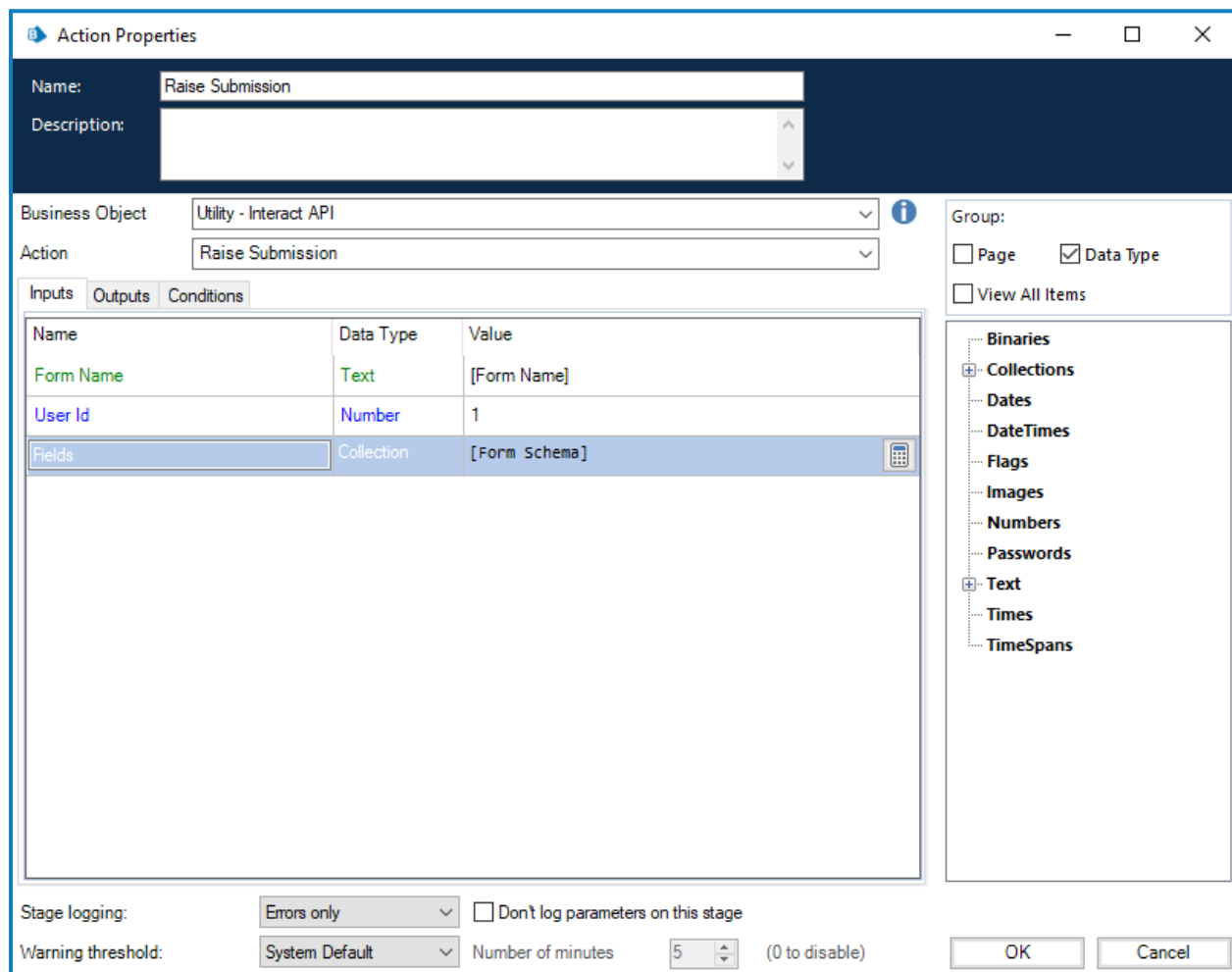
- **\_requestId** – 送信の一意の識別子。
- **送信データ** – Interactフォームのコンテンツをコレクションに取得します。これは [\[送信を取得 ページ15\]](#) と同じ形式になります。

## 送信を生成する

送信を生成]アクションでは、ユーザーの特定の受信トレイフォルダーに送信を作成できます。生成された送信は、要件に応じて、完全にまたは部分的に入力することも、完全に空にすることもできます。

 送信のベースとなるフォームにラジオグループのキャプチャタイプが含まれている場合、空の送信を生成できません。ラジオグループに値を設定する必要があります。フォームのキャプチャタイプの詳細については、「[Interactプラグインユーザーガイド](#)」を参照してください。


アクションの入力は、[フォーム名]、[ユーザーID] ( [フォーム名別にユーザーを取得] を実行することで取得可能)、およびフィールド内にロードされるデータです(下図を参照)。読み込まれるデータファイルは、[フォームスキーマを取得] コマンドを実行すると作成できます。



Name	Data Type	Value
Form Name	Text	[Form Name]
User Id	Number	1
Fields	Collection	[Form Schema]


送信を生成]アクションには、次の任意の出力パラメーターがあります。

- `_requestId` – 送信の一意の識別子。
- **送信データ** – Interactフォームのコンテンツをコレクションに取得します。これは [送信を取得 ページ15](#)]と同じ形式になります。

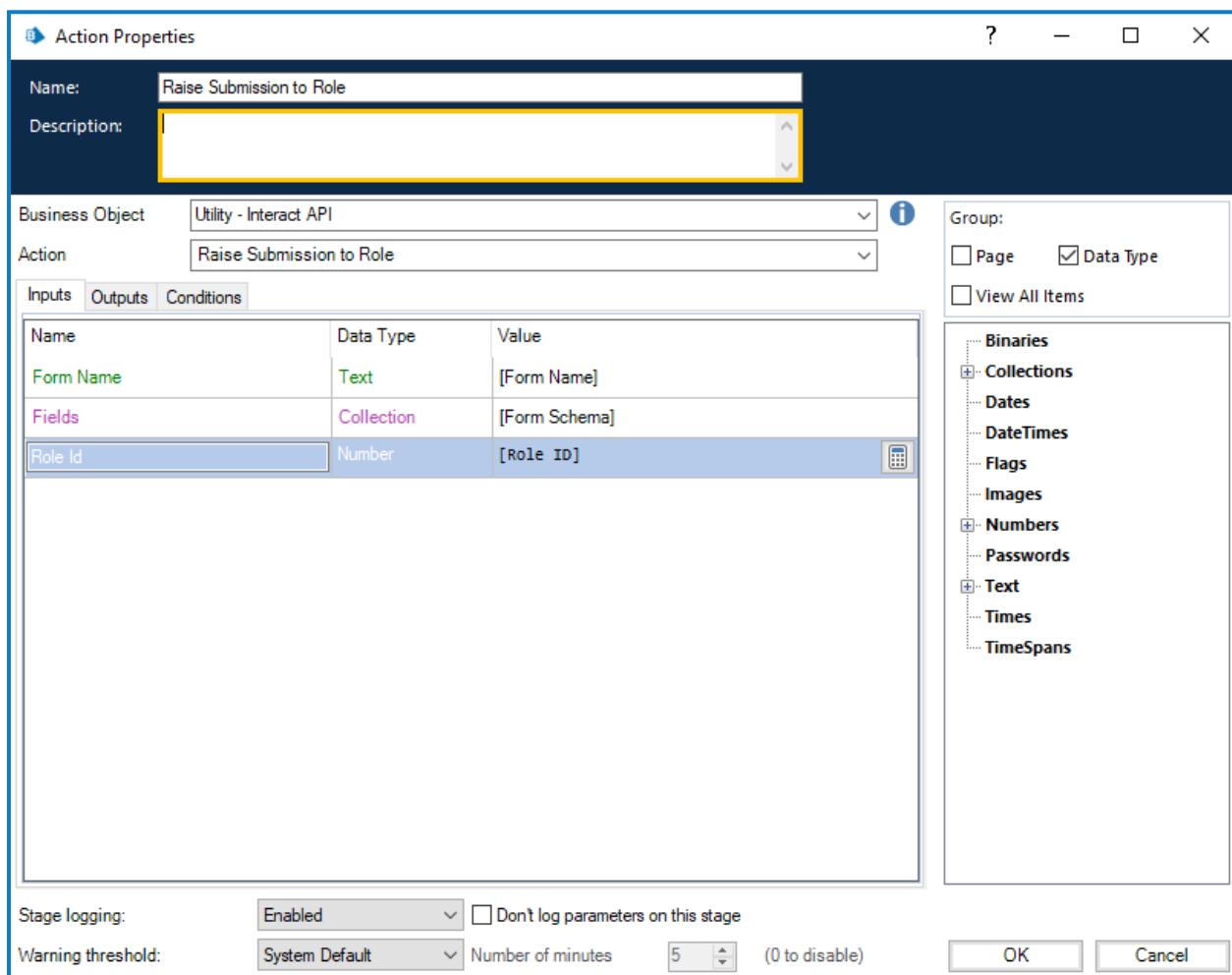
 [ファイルをアップロードする ページ31](#)]とともに [送信を生成](#)]を使用する場合、添付するファイルの詳細を含むコレクションを正しくフォーマットしてください。コレクションの形式の詳細については、「[フォームスキーマを取得 ページ18](#)」を参照してください。

## 役割に送信を生成する

役割に送信を生成]アクションを使用すると、その役割に割り当てられているすべてのユーザーの受信トレイフォルダーに表示される送信を作成できます。生成された送信は、要件に応じて、完全にまたは部分的に入力することも、完全に空にすることもできます。

 送信のベースとなるフォームにラジオグループのキャプチャタイプが含まれている場合、空の送信を生成できません。ラジオグループに値を設定する必要があります。フォームのキャプチャタイプの詳細については、「[Interactプラグインユーザーガイド](#)」を参照してください。


アクションの入力は、[フォーム名]、フィールドに読み込まれるデータ、[役割ID] ([役割IDで役割を取得](#))を実行することで取得可能です。(下図を参照)。読み込まれるデータファイルは、[フォームスキーマを取得]コマンドを実行すると作成できます。



Name	Data Type	Value
Form Name	Text	[Form Name]
Fields	Collection	[Form Schema]
Role Id	Number	[Role ID]

役割に送信を生成]アクションには、次の任意の出力パラメーターがあります。

- **\_requestId** – 送信の一意の識別子。
- **送信データ** – Interactフォームのコンテンツをコレクションに取得します。これは [送信を取得 ページ15](#)]と同じ形式になります。

 [ファイルをアップロードする次のページ]とともに [役割に送信を生成](#)]を使用する場合、添付するファイルの詳細を含むコレクションを正しくフォーマットしてください。コレクションの形式の詳細については、「[フォームスキーマを取得 ページ18](#)」を参照してください。

## ファイルをアップロードする

[ファイルをアップロード]アクションでは、画像ファイルや文書などのファイルをローカルストレージにアップロードできます。以下と組み合わせて使用できます。

- 送信を作成 ページ28
- アップロード ページ47
- 送信を生成する ページ29
- 役割に送信を生成する 前のページ

[ファイルをアップロード]アクションでは、一度に1つのファイルのみアップロードされます。フォームに複数のファイルをアップロードする場合は、各ファイルのアップロードアクションを実行してから、出力リンクを別々に保存する必要があります。

以下に示すように、アクションには4つの入力があります。

- **フォーム名** – アップロードされたファイルが関連付けられているInteract内のフォーム。
- **フィールド名** – フォーム上のフィールドのオートメーションID。
- **ファイル名** – ローカルストレージにアップロードされるファイル。これには、拡張子を含むファイルのフルネームを含める必要があります。
- **ファイル** – タイプがバイナリに設定されているデータアイテムを使用して添付されたファイルの内容。

**Action Properties**

Name:

Description:

Business Object:

Action:

Group:  Page  Data Type  
 View All Items

Inputs | Outputs | Conditions

Name	Data Type	Value
Field Name	Text	[Field Name]
Form Name	Text	[Form Name]
File Name	Text	[File Name]
File	Binary	[Alt File]

Binaries  
Collections  
Dates  
DateTimes  
Flags  
Images  
Numbers  
Passwords  
Text  
Times  
TimeSpans

Stage logging:   Don't log parameters on this stage

Warning threshold:  Number of minutes  (0 to disable)

ファイルをアップロードすると、上述のリストにあるアクション「」で利用できるリンクが表示されます。

Action Properties

Name: Upload File

Description:

Business Object: Utility - Interact API

Action: Upload File

Group:  Page  Data Type  
 View All Items

Inputs Outputs Conditions

Name	Data Type	Store In
Link	Text	<input checked="" type="checkbox"/> Link

Stage logging: Enabled  Don't log parameters on this stage


Warning threshold: System Default Number of minutes 5 (0 to disable)

OK Cancel

Binaries  
Collections  
Dates  
DateTimes  
Flags  
Images  
Numbers  
Passwords  
Text  
Times  
TimeSpans

ファイルがアップロードされたら、ファイルの内容を該当するアクション「」に添付できます。そのためには、以下を行う必要があります。

1. **ファイルをアップロード** – ローカルストレージにファイルをアップロードします。
2. **フォームスキーマを取得** – ファイルが添付されるフォームの構造を取得します。
3. **送信を作成または送信を生成** – 変更されたフォーム構造を参照し、アップロードされたファイルを新しい送信に添付します。

 **送信を作成]**を使用する場合、添付ファイルはInteractの **[送信履歴]** タブからダウンロードして表示できます。**[送信を生成]**を使用する場合、ユーザーはファイル置き換えるリンクのみを編集でき、画像以外の添付ファイルを表示したり、ファイルをダウンロードしたりすることはできません。



## 罫線ルールのパディングを編集

[送信フィールド値を編集 次のページ]アクションでは、で使用可能なアクションを補完します。このアクションはフォームの罫線要素に直接リンクし、パディング値の変更を可能にします。

フィールド名はフォームデザイナー内で作成されたオートメーションIDです。[パディング]フィールドでは数字を使用します。この数字がフォームの罫線の上下に表示される垂直幅のピクセル数を定義します。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Edit Horizontal Rule Padding' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. The 'Name' field is 'Edit Horizontal Rule Padding' and the 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Edit Horizontal Rule Padding'. The 'Group' section has 'Page' unchecked and 'Data Type' checked. The 'View All Items' checkbox is also unchecked. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with the following data:

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"first-hrule"
Padding Top	Number	100
Padding Bottom	Number	20

The 'Padding Bottom' row is highlighted. To the right of the table is a tree view with the following items: Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, TimeSpans. At the bottom of the dialog, the 'Stage logging' is 'Enabled' and 'Don't log parameters on this stage' is unchecked. The 'Warning threshold' is 'System Default' and 'Number of minutes' is '5' (0 to disable). The 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom right.

## 送信フィールド値を編集

送信フィールド値を編集]アクションは、他のすべてのアクションと同様に、オブジェクトから呼び出されます。オブジェクト内には、特定のフィールド要素を更新できるアクションがいくつかあります。これらのアクションは、Interactフォームで使用される要素タイプに直接リンクしています。

以下のセクションのフィールド名は、フォームデザイナー内で作成されたオートメーションIDです。

さまざまな要素タイプの詳細については、以降のセクションで説明します。

### チェックボックス要素 (単一)

チェックボックス編集値は、単一チェックボックスと複数チェックボックスの両方の使用をサポートする2つの異なるアクションです。単一チェックボックスの値を更新するには、単純なテキスト文字列が送信されます。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Edit Checkbox Single Field Value' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. Below the header, there are fields for 'Name' (set to 'Edit Checkbox Single Field Value') and 'Description' (empty). The 'Business Object' is set to 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Edit Checkbox Single Field Value'. There are tabs for 'Inputs', 'Outputs', and 'Conditions'. The 'Inputs' tab is active, showing a table with columns 'Name', 'Data Type', and 'Value'. The table has three rows: 'Submission Id' (Text, [Data.\_requestId]), 'Field Name' (Text, "what-pets-do-you-have"), and 'Field Value' (Text, "dog"). To the right of the table is a 'Group' section with checkboxes for 'Page', 'Data Type' (checked), and 'View All Items'. Below the table is a 'Stage logging' section with a dropdown set to 'Errors only' and a checkbox for 'Don't log parameters on this stage'. At the bottom, there is a 'Warning threshold' section with a dropdown set to 'System Default', a 'Number of minutes' spinner set to '5', and a note '(0 to disable)'. 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom right.

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]
Field Name	Text	"what-pets-do-you-have"
Field Value	Text	"dog"

## チェックボックス要素 (複数)

チェックボックス編集値 (複数) については、やはり単純なテキスト文字列が送信されますが、異なる値にはカンマ区切りの文字列を使用します。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the action 'Edit Checkbox Multiple Field Value'. The dialog is divided into several sections:

- Name:** Edit Checkbox Multiple Field Value
- Description:** (Empty text area)
- Business Object:** Utility - Interact API
- Action:** Edit Checkbox Multiple Field Value
- Inputs/Outputs/Conditions:** A table with the following data:

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"what-pets-do-you-have"
Field Value	Text	"dog, cat, rabbit"
- Group:**  Page  Data Type  View All Items
- Category List:** A tree view showing categories like Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, and TimeSpans.
- Stage logging:** Errors only (selected)  Don't log parameters on this stage
- Warning threshold:** System Default (selected) Number of minutes: 5 (0 to disable)
- Buttons:** OK, Cancel

## 日付要素

日付要素は、テキスト形式を使用してInteractフォーム内の値を編集します。これは、Interactフォーム内の3つの異なる形式をサポートするためのものです。このフォームでは、以下の形式を日付に使用できます。

- DD/MM/YYYY – 英国形式。
- MM/DD/YYYY – 米国形式。
- YYYY/MM/DD – 国際形式。

Interactフォームで日付を国際形式として承認するように設定し、英国または米国の形式で日付を差し戻すと、Interactフォームには無効なデータメッセージが表示されます。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Edit Date Field Value' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. Below the header, there are fields for 'Name' (Edit Date Field Value) and 'Description'. The 'Business Object' is set to 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Edit Date Field Value'. There are tabs for 'Inputs', 'Outputs', and 'Conditions'. The 'Inputs' tab is active, showing a table with columns 'Name', 'Data Type', and 'Value'. The table has three rows: 'Submission Id' (Text, [Data\_requestId]), 'Field Name' (Text, "date-of-birth"), and 'Field Value' (Text, "22/06/1972"). To the right of the table is a tree view showing a hierarchy of data types: Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, and TimeSpans. At the bottom of the dialog, there are settings for 'Stage logging' (Errors only) and 'Warning threshold' (System Default, 5 minutes). There are 'OK' and 'Cancel' buttons at the bottom right.

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"date-of-birth"
Field Value	Text	"22/06/1972"

## ドロップダウン要素 (単一)

ドロップダウン要素は、チェックボックス要素と同様に、単一のエン트리と複数のエントリに対して2つのアクションをサポートします。単一ドロップダウンの値を更新するには、単純なテキスト文字列が送信されます。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Edit Dropdown Single Field Value' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. The 'Name' field is 'Edit Dropdown Single Field Value' and the 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Edit Dropdown Single Field Value'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with the following data:

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"what-pets-do-you-have"
Field Value	Text	"snake"

The 'Field Value' row is highlighted in blue. To the right of the table is a 'Group' section with checkboxes for 'Page', 'Data Type', and 'View All Items'. Below the table is a 'Stage logging' section with a dropdown set to 'Errors only' and a checkbox for 'Don't log parameters on this stage'. At the bottom, there is a 'Warning threshold' section with a dropdown set to 'System Default', a 'Number of minutes' spinner set to 5, and a '(0 to disable)' label. 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom right.

## ドロップダウン要素 (複数)

ドロップダウン編集値 (複数) については、やはり単純なテキスト文字列が送信されますが、異なる値にはカンマ区切りの文字列を使用します。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the action 'Edit Dropdown Multiple Field Value'. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. The 'Name' field is 'Edit Dropdown Multiple Field Value' and the 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Edit Dropdown Multiple Field Value'. The 'Group' section has 'Page' unchecked and 'Data Type' checked. The 'View All Items' checkbox is also unchecked. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with the following data:

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"what-pets-do-you-have"
Field Value	Text	"fish, snake"

The 'Field Value' row is highlighted in blue. To the right of the table is a vertical list of data types: Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, and TimeSpans. The 'Text' type is selected. At the bottom of the dialog, there are 'Stage logging' and 'Warning threshold' settings. 'Stage logging' is set to 'Errors only' and 'Don't log parameters on this stage' is unchecked. 'Warning threshold' is set to 'System Default' and 'Number of minutes' is 5 (0 to disable). There are 'OK' and 'Cancel' buttons at the bottom right.

## 数値要素

数値要素は、渡される数値またはテキストを受け入れます。フィールドタイプはテキストタイプですが、カンマや小数点など、使用できる区切り記号のみを使用して数値を指定する必要があります。テキストが返されると、Interactフォームに無効なデータに関するメッセージが表示されます。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Edit Number Field Value' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. Below the header, there are fields for 'Name' (Edit Number Field Value) and 'Description'. The 'Business Object' is set to 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Edit Number Field Value'. There are tabs for 'Inputs', 'Outputs', and 'Conditions'. The 'Inputs' tab is active, showing a table with three rows: 'Submission Id' (Text, [Data.\_requestId]), 'Field Name' (Text, "salary"), and 'Field Value' (Text, "54,107.67"). To the right of the table is a 'Group' section with checkboxes for 'Page', 'Data Type', and 'View All Items'. Below the 'Data Type' checkbox is a list of data types: Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, and TimeSpans. At the bottom of the dialog, there are 'Stage logging' and 'Warning threshold' settings, and 'OK' and 'Cancel' buttons.

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]
Field Name	Text	"salary"
Field Value	Text	"54,107.67"

## 段落要素

段落要素ではテキストまたはHTMLの文字列、ハイパーリンク、およびハイパーリンクのラベルを使用できます。これらのフィールドはすべて任意です。

最も簡単な形式では、テキスト値パラメーターを使用して、書式なしでテキストの段落を更新できます。ハイパーリンクを追加することもできます。ハイパーリンクはフォーム上で、テキスト値に入力したテキストの段落のすぐ下の行に表示されます。ハイパーリンクにはURLのリンクパラメーターと、テキストで使用する表示用テキストパラメーターがあります。

以下の例では、アクションに直接設定される情報を示していますが、実際は自動化でデータアイテムを使用してこれらのフィールドに情報を入力することが考えられます。

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[_requestId]
Field Name	Text	"paragraph"
Text Value	Text	"Link to Blue Prism product help"
Link	Text	"https://bpdocs.blueprism.com/home.htm"
Text to Display	Text	"Blue Prism online help"

または、HTMLをテキスト値パラメーターに入力して、書式設定されたテキストで段落を更新することもできます。HTMLを入力フィールドに直接入力する場合は、テキスト値パラメーターの入力が引用符で囲まれているため、HTML内の引用符はバックスラッシュを使用してエスケープする必要があります(リンクを挿入する場合、スタイルを使用する場合など)。これは、式の検証を使用して構築することもできます。HTMLは、開くタグ「<>」と閉じるタグ「</>」を使用して正しくフォーマットする必要があります。

例:

```
<p><a href="https://bpdocs.blueprism.com/home.htm">Blue Prism製品ヘルプ</a>へのリンク</p>
```

データアイテムを使用して情報をアクションに入力すると、次のようになります。

```
「<p><a href=\"https://bpdocs.blueprism.com/home.htm\">Blue Prism製品ヘルプ</a>へのリンク</p>」
```

データアイテムを使用してこれらのフィールドに情報を入力することをお勧めします。これにより、Blue Prismフィールドで必要なエスケープ文字のフォーマットの問題を回避できます。



たとえば、上記の例を直接フィールドに入力すると、引用符をさらにエスケープする必要があります。

「`<p><a href=\"\"&\"https://bpdocs.blueprism.com/home.htm\"\"&\">Blue Prism製品ヘルプ</a>へのリンク</p>`」

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	"22"
Field Name	Text	"paragraph"
Text Value	Text	"<p>Link to <a href=\"\"&\"https://bpdocs.blueprism.c...
Link	Text	
Text to Display	Text	

フォームを作成するとき、Interactフォームユーザーインターフェイスの段落フィールドに入力できるフォーマットを反映するには、次のHTMLタグを使用できます。

- 段落 – `<p>` – HTMLは段落タグ「`<p>`」で囲む必要があります。たとえば、`<p>これは私の段落です</p>`。  
テキスト値パラメーターには、複数の段落を含めることができます。たとえば、`<p>これは私の最初のパラグラフです。第1段落の次の文です。</p><p>第2段落です。</p>`
- 太字 – `<b>` – 太字のタグ「`<b>`」を使用して必要なテキストを囲みます。たとえば、`<p>これは<b>太字</b>です</p>`。
- イタリック – `<i>` – イタリックタグ「`<i>`」を使用して必要なテキストを囲みます。たとえば、`<p>これは<i>イタリック</i>です</p>`。
- 下線 – `<u>` – 下線タグ「`<u>`」を使用して必要なテキストを囲みます。たとえば、`<p>この<u>テキストは下線付き</u>です</p>`。
- ハイライト – `<mark>` – ハイライトタグ「`<mark>`」を使用して必要なテキストを囲みます。たとえば、`<p>この<mark>テキストは強調表示</mark>されます</p>`。デフォルトでは、テキストは黄色の背景を持つ黒のフォントで表示されます。

または、スパンタグをテキストの背景色を定義するスタイル属性とともに使用できます。たとえば、`<p>この<span style="background-colour:blue;">テキストは強調表示</span>されます</p>`。

引用符はエスケープする必要があるため、次のようになります。`<p><span style=\"background-color:blue;\">テキストがハイライトされます</span></p>`。

- テキストの色 – `<span style>` – 特定の単語の色を変更するには、色を定義するスタイル属性が適用されたスパンタグでテキストを囲む必要があります。たとえば、`<p>このテキストは<span style="color:red;">赤色</span>です</p>`。

引用符はエスケープする必要があるため、次のようになります。`<p>このテキストは<span style=\"color:red;\">赤色</span>です</p>`。

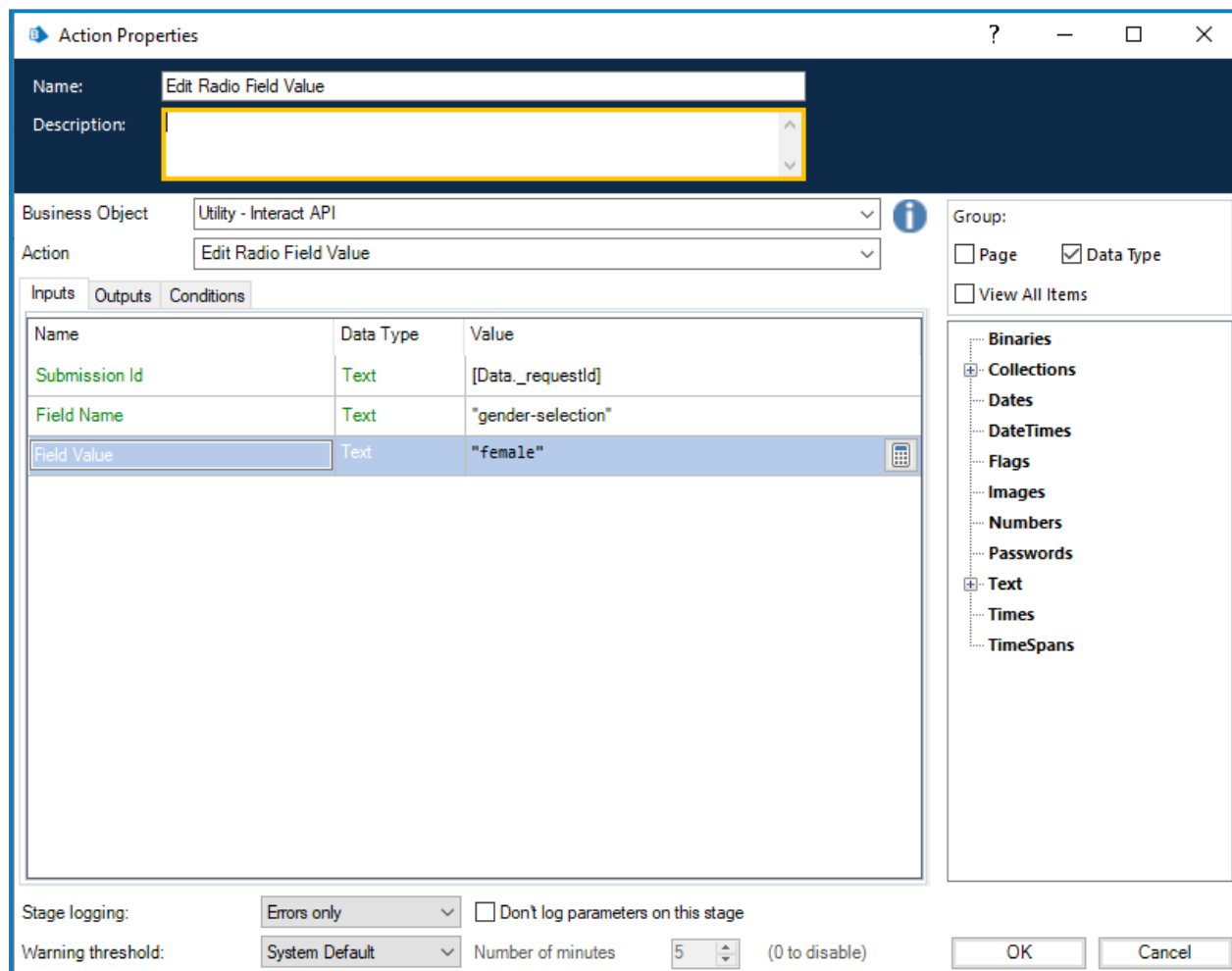
または、段落内のすべてのテキストを標準形式とは異なる色で表示するには、段落タグでスタイルを指定することができます。

- ハイパーリンク – `<a href="">` – リンクされるテキストを、ハイパーリンクタグと属性「`<a href>`」を使用して囲みます。たとえば、`<p>これは<a href="http://www.blueprism.com">ハイパーリンク</a>です</p>`。

引用符はエスケープする必要があるため、次のようになります。`<p>これは<a href=\"http://www.blueprism.com\">ハイパーリンク</a>です</p>`。

## ラジオグループ要素

ラジオグループ要素は、単一のチェックボックスまたはドロップダウン要素に似ています。編集された値は、必要な更新値を含む単一のテキストフィールドです。



**Action Properties**

Name: Edit Radio Field Value

Description:

Business Object: Utility - Interact API

Action: Edit Radio Field Value

Group:  Page  Data Type  View All Items

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"gender-selection"
Field Value	Text	"female"

Stage logging: Errors only  Don't log parameters on this stage

Warning threshold: System Default Number of minutes: 5 (0 to disable)

OK Cancel

## 表要素

表要素は、値を更新するためにコレクションを使用します。コレクションには、ターゲットフォーム内のフォームフィールドと同じ数の列が含まれている必要があります。コレクションのフィールド名には、オートメーションIDを使用する必要があります。更新対象のデータに合わせて行数を増減できます。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Edit Table Field Value' action. The 'Name' field is 'Edit Table Field Value'. The 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Edit Table Field Value'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with three rows: 'Submission Id' (Text, [Data\_requestId]), 'Field Name' (Text, "sales-orders"), and 'Field Value' (Collection, [Sales Orders]). The 'Field Value' row is highlighted. The 'Group' section has 'Data Type' checked. The 'Stage logging' is set to 'Errors only' and 'Warning threshold' is 'System Default' with a value of 5 minutes. The 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom right.

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"sales-orders"
Field Value	Collection	[Sales Orders]

表を編集]アクションは、既存の表に行を追加するのとは対照的に、表全体を上書きします。

## テキスト要素

テキスト要素には、その要素に渡す単純なテキストフィールドが必要です。

**Action Properties**

Name: Edit Text Field Value  
Description:

Business Object: Utility - Interact API  
Action: Edit Text Field Value

Group:  
 Page  Data Type  
 View All Items

Inputs Outputs Conditions

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"name-of-new-bank"
Field Value	Text	"Piggy Bank Ltd"

Binaries  
Collections  
Dates  
DateTimes  
Flags  
Images  
Numbers  
Passwords  
Text  
Times  
TimeSpans

Stage logging: Errors only  Don't log parameters on this stage  
Warning threshold: System Default Number of minutes: 5 (0 to disable)

OK Cancel

## テキスト領域要素

テキスト領域]要素は、最大3,500文字の長さのテキスト文字列を受け入れます。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Edit Text Area Field Value' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. The 'Name' field is 'Edit Text Area Field Value' and the 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Edit Text Area Field Value'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with three rows: 'Submission Id' (Text, [Data.\_requestId]), 'Field Name' (Text, "text-area"), and 'Field Value' (Text, "Whether you're looking to manage a complex infrast..."). The 'Outputs' and 'Conditions' tabs are also visible. On the right, the 'Group' section has 'Page' and 'View All Items' unchecked, and 'Data Type' checked. A tree view on the right shows categories like Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, and TimeSpans. At the bottom, 'Stage logging' is set to 'Errors only' and 'Warning threshold' is 'System Default' with a value of 5 minutes.

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]
Field Name	Text	"text-area"
Field Value	Text	"Whether you're looking to manage a complex infrast..."

## 時間要素

時間要素は、テキスト形式を使用してInteractフォームの値を編集します。時間は、次の2つの形式のいずれかで指定できます。

- 03:00:00 PM、または
- 15:00:00。

どちらもInteractでは午後3時を返します。

**Action Properties**

Name: Edit Time Field Value  
Description:

Business Object: Utility - Interact API  
Action: Edit Time Field Value

Inputs | Outputs | Conditions

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]
Field Name	Text	"current-time"
Field Value	Text	"15:00:00"

Group:  
 Page  Data Type  
 View All Items

Binaries  
Collections  
Dates  
DateTimes  
Flags  
Images  
Numbers  
Passwords  
Text  
Times  
TimeSpans

Stage logging: Errors only  Don't log parameters on this stage  
Warning threshold: System Default Number of minutes: 5 (0 to disable)

OK Cancel

## アップロード

[アップロードフィールド値を編集]アクションを使用すると、画像やドキュメントなどの既存のファイルを新しいファイルに置き換えることができます。

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"file"
Field Value	Collection	[Form Schema]

このアクションが次の場合：

- [フォームスキーマを取得]では、空白の送信を開始し、このアクションを使用してファイルをアップロードできます。
- [送信を取得]または[次のアイテムを取得] (Blue Prism内部ビジネスオブジェクト – ワークキュー) から。[アップロードフィールドの値を編集]に置き換えられるファイルがすでに存在する必要があります。

## フィールドの状態をオプションに変更

「フィールドの状態をオプションに変更」アクションでは、送信内のフィールドの状態を変更し、それをオプション状態にすることができます。

アクションの入力は、[送信ID]と、状態をオプションに変更する [フィールド名] です(下図参照)。これは、「セキュリティ」の名前のフィールドが「オプション」状態に設定される例を示しています。

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"security"

「フィールドの状態をオプションに変更」に対する出力はありません。



## フィールドの状態を必須に変更する

「フィールドの状態を必須に変更」アクションでは、送信内のフィールドの状態を変更し、それを必須状態にすることができます。

アクションの入力は、[送信ID]と、状態を必須に変更する [フィールド名] です(下図参照)。この例は、セキュリティ名を「必須」状態に設定したフィールドを示しています。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Change Field State to Mandatory' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. The 'Name' field contains 'Change Field State to Mandatory'. The 'Description' field is empty. The 'Business Object' is set to 'Utility - Interact API'. The 'Action' is set to 'Change Field State to Mandatory'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with the following data:

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"security"

The 'Field Name' input is highlighted in blue. To the right of the table is a list of data types: Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, and TimeSpans. The 'Text' type is selected. At the bottom of the dialog, there are settings for 'Stage logging' (set to 'Errors only') and 'Warning threshold' (set to 'System Default'). The 'Number of minutes' is set to 5. There are 'OK' and 'Cancel' buttons at the bottom right.

「フィールドの状態を必須に変更」に対する出力はありません。

## フィールドの状態を読み取り専用に変更する

「フィールドの状態を読み取り専用に変更」アクションでは、送信内のフィールドの状態を変更し、それを読み取り専用状態にすることができます。

アクションの入力は、「送信ID」と、状態を読み取り専用に変更する「フィールド名」です(下図参照)。これは、「セキュリティ」の名前のフィールドが「読み取り専用」状態に設定される例を示しています。

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"security"

「フィールドの状態を読み取り専用に変更」に対する出力はありません。

## フィールドの状態を非表示に変更する

「フィールドの状態を非表示に変更」アクションでは、送信内のフィールドの状態を変更し、それを非表示状態にすることができます。

アクションの入力は、「送信ID」と、状態を非表示に変更する「フィールド名」です(下図参照)。これは、「セキュリティ」の名前のフィールドが「非表示」状態に設定される例を示しています。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Change Field State to Hidden' action. The 'Inputs' tab is active, displaying a table with the following data:

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Field Name	Text	"security"

The 'Outputs' and 'Conditions' tabs are empty. The 'Group' section has 'Data Type' checked. The 'Stage logging' section is set to 'Errors only' and 'Don't log parameters on this stage' is unchecked. The 'Warning threshold' is set to 'System Default' and 'Number of minutes' is 5.

「フィールドの状態を非表示に変更」に対する出力はありません。

## ページの状態を表示に変更する

ページの状態を表示に変更]アクションを使用すると、送信内でページを表示できます。

アクションの入力は、[送信ID]と、表示されるように変更する [ページ名]です(下図参照)。この例は、「入力」の名前が「表示」状態に設定されているページを示しています。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Change Page State to Visible' action. The 'Inputs' tab is active, displaying a table with the following data:

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Page Name	Text	"Inputs"

The 'Page Name' input is highlighted, and a calculator icon is visible next to its value. The 'Group' section on the right has 'Data Type' checked. The 'Stage logging' section is set to 'Errors only' and 'Don't log parameters on this stage' is unchecked. The 'Warning threshold' is set to 'System Default' and 'Number of minutes' is 5.

ページの状態を表示に変更]に対する出力はありません。

## ページの状態を非表示に変更する

「ページの状態を非表示に変更」アクションを使用すると、送信内でページを非表示にできます。

アクションの入力は、[送信ID]と、非表示となるように変更する [ページ名] です(下図参照)。この例は、「入力」の名前が「非表示」状態に設定されているページを示しています。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Change Page State to Hidden' action. The 'Inputs' tab is selected, displaying a table with the following data:

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data_requestId]
Page Name	Text	"Inputs"

The 'Page Name' input is highlighted, and its value is shown as "Inputs". The 'Group' section on the right has 'Data Type' checked. The 'Stage logging' section is set to 'Errors only' and 'Don't log parameters on this stage' is unchecked. The 'Warning threshold' is set to 'System Default' and 'Number of minutes' is 5.

「ページの状態を非表示に変更」に対する出力はありません。

## 送信を履歴タブに移動

送信を履歴タブに移動]アクションでは、送信を現在のフォルダーから 履歴]の下の 送信履歴]フォルダーに移動できます。このアクションにより、送信のステータスも 送信済み]に更新されます。Interactの [ステータス] フィルターを使用すると、このステータスを持つ送信のみを表示できます。

アクションの入力は、以下に示すように、移動する送信の送信IDです。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Move Submission to Submitted History Tab' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. The 'Name' field is set to 'Move Submission to Submitted History Tab'. The 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Move Submission to Submitted History Tab'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with one input: 'Submission Id' of type 'Text' with value '[Data.\_requestId]'. The 'Outputs' and 'Conditions' tabs are empty. On the right, the 'Group' section has 'Page' unchecked and 'Data Type' checked. Below that is a 'View All Items' checkbox. A list of data types is shown: Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, and TimeSpans. At the bottom, 'Stage logging' is set to 'Errors only' and 'Warning threshold' is 'System Default' with a value of 5 minutes. 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom right.

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]

送信を履歴タブに移動]に出力はありません。

## 送信を承認済みタブに移動

[送信を承認済みタブに移動]アクションでは、送信を現在のフォルダーから [履歴] の下の [送信履歴] フォルダーに移動できます。このアクションにより、送信のステータスも [承認済み] に更新されます。Interact の [ステータス] フィルターを使用すると、このステータスを持つ送信のみを表示できます。

アクションの入力は、以下に示すように、移動する送信の送信IDです。

Action Properties

Name: Move Submission to Approved Tab

Description:

Business Object: Utility - Interact API

Action: Move Submission to Approved Tab

Group:  Page  Data Type  View All Items

Inputs Outputs Conditions

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]

Binaries  
Collections  
Dates  
DateTimes  
Flags  
Images  
Numbers  
Passwords  
Text  
Times  
TimeSpans

Stage logging: Errors only  Don't log parameters on this stage


Warning threshold: System Default Number of minutes 5 (0 to disable)

OK Cancel

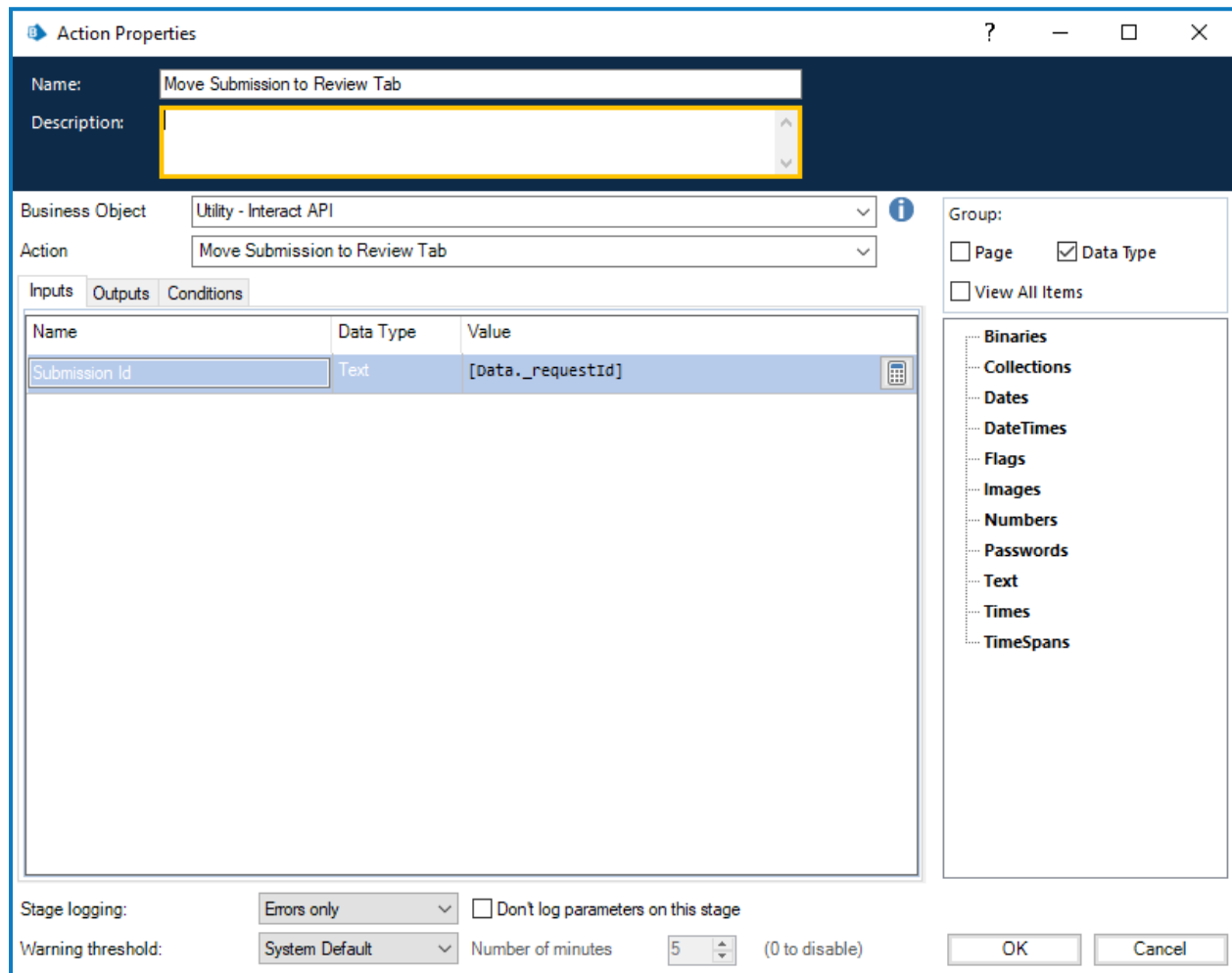
[送信を承認済みタブに移動] には出力はありません。

## 送信をレビュータブに移動

送信をレビュータブに移動]アクションでは、送信者は **履歴**]の下の **承認待ち**]フォルダーに、承認者は **マイワーク**]の下の **承認**]フォルダーに、送信を移動できます。

 これには、フォームを **1人の承認者**]または **任意の承認者**]のいずれかで設定する必要があります。そうでない場合、フォームは **承認待ち**]フォルダーに移動しますが、承認者の **マイワーク**]タブには移動しません。

アクションの入力は、以下に示すように、移動する送信の送信IDです。



The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Move Submission to Review Tab' action. The 'Name' field is 'Move Submission to Review Tab' and the 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Move Submission to Review Tab'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with one input: 'Submission Id' of type 'Text' with value '[Data.\_requestId]'. The 'Group' section has 'Data Type' checked. The 'Stage logging' is set to 'Errors only' and the 'Warning threshold' is 'System Default' with a value of 5 minutes. The 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom right.

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]

送信をレビュータブに移動]に出力はありません。



## 送信を却下済みタブに移動

送信を却下済みタブに移動]アクションでは、送信を現在のフォルダーから履歴]の下の送信履歴]フォルダーに移動できます。このアクションにより、送信のステータスも却下済み]に更新されます。Interactの[ステータス]フィルターを使用すると、このステータスを持つ送信のみを表示できます。

アクションの入力は、以下に示すように、移動する送信の送信IDです。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Move Submission to Declined Tab' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. The 'Name' field contains 'Move Submission to Declined Tab'. The 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Move Submission to Declined Tab'. The 'Group' section has 'Page' unchecked and 'Data Type' checked. The 'View All Items' checkbox is also unchecked. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with one input: 'Submission Id' of type 'Text' with value '[Data.\_requestId]'. The 'Stage logging' section is set to 'Errors only' and 'Warning threshold' is 'System Default'. The 'Number of minutes' is set to 5, with '(0 to disable)' next to it. The 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom right.

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]

送信を却下済みタブに移動]に出力はありません。

## 送信を下書きタブに移動する

送信を下書きタブに移動]アクションでは、送信を現在のフォルダーから [マイワーク] の下の [下書き] フォルダーに移動できます。

アクションの入力は、以下に示すように、移動する送信の送信IDです。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Move Submission to Draft Tab' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. The 'Name' field is 'Move Submission to Draft Tab'. The 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Move Submission to Draft Tab'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with one input: 'Submission Id' of type 'Text' with value '[Data.\_requestId]'. The 'Outputs' and 'Conditions' tabs are empty. On the right, the 'Group' section has 'Page' unchecked and 'Data Type' checked. Below that is a list of data types: Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, and TimeSpans. At the bottom, 'Stage logging' is set to 'Errors only' and 'Warning threshold' is 'System Default' with a value of 5 minutes.

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]

送信を下書きタブに移動]に出力はありません。

## 送信を受信トレイタブに移動する

送信を受信トレイタブに移動]アクションでは、送信を現在のフォルダーから [マイワーク] の下の 受信トレイ] フォルダーに移動できます。

アクションの入力は、以下に示すように、移動する送信の送信IDです。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Move Submission to Inbox Tab' action. The 'Name' field is set to 'Move Submission to Inbox Tab'. The 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Move Submission to Inbox Tab'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with one input: 'Submission Id' of type 'Text' with the value '[Data.\_requestId]'. The 'Outputs' and 'Conditions' tabs are empty. On the right, the 'Group' section has 'Data Type' checked. Below the table is a list of data types: Binaries, Collections, Dates, DateTimes, Flags, Images, Numbers, Passwords, Text, Times, and TimeSpans. At the bottom, 'Stage logging' is set to 'Errors only' and 'Warning threshold' is set to 'System Default' with a value of 5 minutes.

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]

送信を受信トレイタブに移動]に出力はありません。

## 送信をアーカイブ済みタブに移動する

送信をアーカイブ済みタブに移動]アクションでは、送信を現在のフォルダーから [履歴] の下の [アーカイブ済み] フォルダーに移動できます。

アクションの入力は、以下に示すように、移動する送信の送信IDです。

The screenshot shows the 'Action Properties' dialog box for the 'Move Submission to ArchivedTab' action. The dialog is titled 'Action Properties' and has a dark blue header. The 'Name' field is 'Move Submission to ArchivedTab'. The 'Description' field is empty. The 'Business Object' is 'Utility - Interact API' and the 'Action' is 'Move Submission to ArchivedTab'. The 'Inputs' tab is selected, showing a table with one input: 'Submission Id' of type 'Text' with value '[Data.\_requestId]'. The 'Group' section has 'Data Type' checked. The 'Stage logging' section is set to 'Errors only' and 'Warning threshold' is 'System Default'. The 'Warning threshold' is set to 5 minutes. The 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom right.

Name	Data Type	Value
Submission Id	Text	[Data._requestId]

送信をアーカイブ済みタブに移動]に入力はありません。

## 人とDigital Workerのコラボレーション

人とDigital Workerのコラボレーションの仕組みを最もよく示すために、簡単なシナリオを検討してみましょう。このシナリオは、ユーザーからのアドレス要求の単純な変更です。

ステップの概要を次に示します。

- ユーザーはInteractを通じて要求を開始します。
- Digital Workerが要求をレビューし、ユーザーの受信トレイにアイテムを移動します。
- その後、ユーザーは要求をレビューして更新し、セキュリティの質問に対する回答を入力し、要求を送信します。



この時点で、ユーザーは受信トレイでフォームを開いたままにすることができます。また、Digital Workerによって動的に更新されるフォームを表示し、必要に応じて追加情報を入力できます。

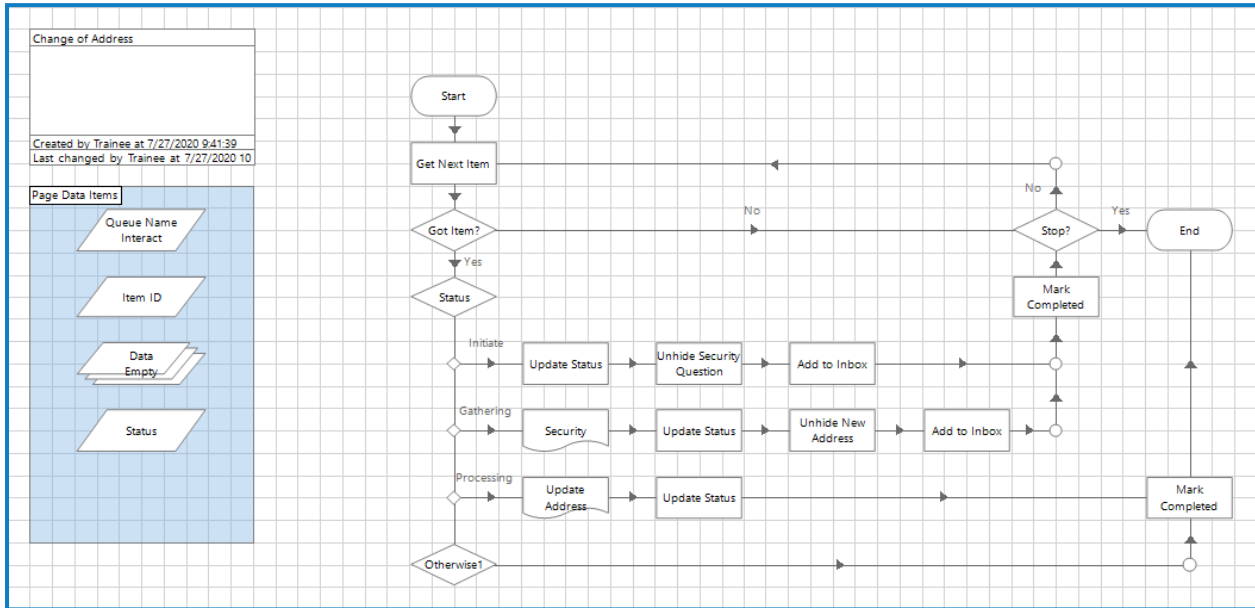
- Digital Workerは、提供された情報を処理し、ユーザーに新しい住所などの追加情報を要求します。
- ユーザーが情報を入力すると、Digital Workerはレコードを更新した後、タスクを完了します。

Interactで作成されたフォームは下図のように表示されます。このフォームは最初に名前と姓、現在の住所を取得します。【テストエリア】に表示される他のフィールドは非表示になります。これらはセキュリティの質問と新しい住所のフィールドです。

The screenshot shows a form titled "HR - Change of Address" in a draft state. The form is divided into sections. The "Initial Details" section is active, showing fields for "First Name", "Last Name", and "Current Address". The "Security Question" field is marked as "Hidden", and the "New Address" field is also marked as "Hidden". A "Submitter" field is visible at the bottom, highlighted with a red dashed box. The form is displayed in a preview mode, showing the user's perspective of the form.

プロセスに関連する自動化を下図に示します。これはループして実行され、ユーザーがDigital Workerと動的に連携して作業できるようにするプロセスです。


このプロセスは「ステータス」フラグの値に応じて動作します。これは、フォームの上部にある読み取り専用のラジオグループです。プロセスがさまざまなステージを進むにつれて、このフラグが更新され、フォームのステータスが変更されます。



## Interact Web APIサービスのオブジェクト制限

Interact Web APIサービスのオブジェクトには次の制限が適用されます。

次の表は制限事項の一覧です。

機能	要素タイプ	適用される制限
送信を取得	数値	[送信を取得] Web APIサービスを使用する場合、数値要素は「テキスト」形式で送られます。Blue Prism内で一度数値にキャストを行う
送信を取得	Date	[送信を取得] Web APIサービス使用して日付要素を取得すると、日付が「DateTime」形式で返されます。DateTime値はBlue Prism内で一度テキストに変換することを推奨します。Interact内のさまざまな日付形式をサポートするには、テキストの使用を推奨します。
IADA	数値	数値要素は「テキスト」形式でBlue Prismキューに送られます。Blue Prism内で一度数値にキャストを行う
送信を作成	数値	Web APIサービスを使用して新しい送信を作成する際、数値要素が空白の場合、送信は失敗します。数値が設定された数値要素フィールドを送信します
送信を作成	ラジオグループ	Web APIサービスを使用して新しい送信を作成する際、ラジオグループ要素が空白の場合、送信は失敗します。値が設定されたラジオグループ要素フィールドを送信します
送信を作成	アップロード	Web APIサービスを使用して新しい送信を作成する場合、アップロード要素を使用する場合は何も返送できません。これは、予想される機能です。
送信を編集	アップロード	Web APIサービスを使用して送信を編集する場合、アップロード要素を使用する場合は何も返送できません。これは、予想される機能です。
Interact フォーム	優先度およびSLA	優先度とSLAはInteractフォームクリエイターで設定できますが、IADAの [次の優先度のアイテムを取得] (GNPI) 機能はオンプレミス構成では使用できないため、このリリースでは重要ではありません。
Interact フォーム	ルール	Blue PrismからInteractフォームを更新する場合、ルールは強制されません。たとえば、フラグが設定されているときに非表示フィールドを表示するルールは、更新時にフラグが正しく設定されていると起動されません。フィールドが読み取り専用でない場合、ユーザーはフィールド内をクリックしてからフォームの別の場所をクリックすると、適用されたルールを表示できます。   構成を更新]を使用して、一部のルールを置き換えることができます。
Interact フォーム	検証	Blue PrismからInteractフォームを更新する場合、正規表現や文字列の長さなどのその他の検証は実行されません。フィールドが読み取り専用でない場合、ユーザーはフィールド内をクリックしてからフォームの別の場所をクリックすると、適用されたルールを表示できます。利用できる回避策はありません。